

- ◆企画名 25年度 講演会  
日 程 平成25年6月20日(木)  
場 所 KUシンフォニーホール  
参加者数 110名(来場者95名、ピア・サポーター6名、研修生9名)  
目 的

- ・本に触れ合う機会の創出
- ・学生に対するピア・コミュニティの事業の認知度向上
- ・学生の図書に対する関心・興味を広げる

## 内 容

### 1. 概要

講演者：東川篤哉氏(著書『謎解きはディナーのあとで』『もう誘拐なんてしない』など)

司会者：KUコアラ ピア・サポーター

対 象：関西大学学生(事前申し込み不要。質問者については、本学学生に限る)

形 式：事前に質問者を募集し、当日は、講演者、司会者、質問者の三者による質疑応答形式で進行した。

広 報：インフォメーションお知らせ、ポスター掲示、ビラ配り、授業に赴き宣伝、関西大学広報課プレスリリース

### 2. 行程

2012年11月上旬 光文社に電話

2012年12月上旬 講演会日程決定

2013年1月～2月 講演会内容を確認・変更→質疑応答形式による講演に決定

2013年3月上旬 質問者募集ビラ・インフォメーション文作成、作成完了

2013年4月1日 質問者募集開始

2013年4月中旬 東川篤哉特集本展示を実施、ビラ配り火曜・金曜に実施(凜風館前)

2013年5月20日 質問募集締め切り→出版社側に6月1日に質問要綱を送信

2013年6月～ 授業内宣伝開始

2013年6月3日 光文社から連絡

2013年6月13日 リハーサル16:30～18:00 KUシンフォニーホールにて

2013年6月17日 KUコアラ定例会議にて全体流れを確認、広報課からプレスリリース

2013年6月19日 参加者全員で、資料を用いて再確認、観客用配布資料しおりの確認

2013年6月20日 講演会実施

9:00～ アンケート印刷、立て看板設置

12:00～ KUシンフォニーホールにて準備開始

## 感 想

今まで実施してきた企画に比べると規模が大きく、どのくらい集客が見込めるのか見当がつかないといった不安があったものの、100人近い来場者を迎えることができた。過去の企画では、アンケート回収率が芳しくないことに悩んでいたのだが、今回は多くの学生の意見を聞くことができたので、次回以降参考とし、利用していきたい。企画当初の目的は実現できたのではないかと考える。

## 改 善 点

アンケートを集計した結果、良かったという感想が9割を占めたが、あとの1割からは質問者事前募集に対する意見があり、改善するのを感じた。広報活動においてはポスターの貼り付けに関してもっと交渉すべきだったのではないかと反省している。